



2023年11月10日

Press Release
報道関係各位

国立大学法人神戸大学
日本コンベンションサービス株式会社

神戸大学 SDGs推進室と日本コンベンションサービス SDGs推進に関する基本協定締結 大阪・関西万博に向けSDGsの取り組みを加速

国立大学法人神戸大学 SDGs推進室（所在地：兵庫県神戸市灘区、室長：喜多 隆）と日本コンベンションサービス株式会社（所在地：東京都千代田区、代表取締役社長：近浪 弘武、以下JCS）は、11月9日に「SDGs推進に関する基本協定」を締結しましたのでお知らせいたします。

両者は本協定を通じ、2025年日本国際博覧会（以下、大阪・関西万博）に向けて、SDGs普及や取り組みの支援に関して、連携して取り組んでまいります。具体的な内容は以下の通りです。

- 1・国内の大学の学生や教員に対するSDGs普及啓発や取り組みの支援
- 2・2025年大阪・関西万博に関する情報交換
- 3・その他、必要と認められること

神戸大学は「未来社会の共創と実践」、JCSは「全ての人にコミュニケーションの輪を広げるためのMICEプロジェクト」を掲げ、大阪・関西万博の機運を醸成する組織参加型プログラム「TEAM EXPO 2025」の共創パートナーに登録しています。

- ・神戸大学「TEAM EXPO 2025」共創パートナー <https://team.expo2025.or.jp/ja/partner/58>
- ・JCS「TEAM EXPO 2025」共創パートナー <https://team.expo2025.or.jp/ja/partner/60>

神戸大学は2020年2月にSDGs推進室を設立し、SDGsを達成するための取り組みをスタートさせました。SDGs推進室は、アカデミアの「知」と「人」をSDGs課題解決につなぐため、異分野共創によるイノベーション創出と人の力を活かした取り組みを推進し、地域や産業界とSDGsの理念を共有しながら連携し、その取り組みを広く国内外に発信しています。

JCSは2012年に日本で初めてISO20121（イベントサステナビリティ）認証を取得し、「環境」「社会」「経済」の側面に配慮して、サステナブル・コンベンション*への取り組み、イベント価値の向上、社会貢献を目指しています。

異分野共創による社会課題解決を目指す神戸大学と、サステナブル・コンベンションを軸に社会課題解決を目指すJCSが産学共創し、互いの強み、知見、リソースを活かして、サステナビリティの価値を追求し、大阪・関西万博に向け新たな価値やイノベーションを創出してまいります。

*「サステナブル・コンベンション」は、JCSの登録商標です。

《参考資料》
協定締結調印式の様子



【左から JCS 代表取締役社長 近浪 弘武、神戸大学 SDGs 推進室長 喜多 隆】



【左から JCS 代表取締役社長 近浪 弘武、神戸大学 SDGs 推進室長 喜多 隆】